



オリゼメート粒剤

農林水産省登録 第 13243 号



■葉いもち



■葉いもち (ずりこみ)



■白葉枯病



■もみ枯細菌病



オリゼメート粒剤は、
いもち病・白葉枯病・
もみ枯細菌病防除に威力を発揮。
ユニークな作用性で
イネの病害抵抗性を誘導し、
いもち病と各種細菌性病害を
シャットアウトします。

その効き目、歴然。

■適用病害虫および使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病	3kg/10a	移植時	1回	側条施用	2回以内(移植時までの処理は1回以内)
	白葉枯病 もみ枯細菌病	3~4kg/10a	葉いもちには初発の10日前~初発時 穂いもちには出穂3~4週間前 収穫14日前まで	2回以内	散布	
	穂枯れ (ごま葉枯病菌)		移植活着後及び出穂3~4週間前 収穫14日前まで			
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 もみ枯細菌病	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り20~30g	移植3日前~ 移植前日	1回	育苗箱の苗の上から均一に散布する。	

殺菌剤分類 P2

- 使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。
- 使用後の空袋は、圃場などに放置せず、適切に処理してください。●防除日誌をつけましょう。

お問い合わせ/ご注文は



オリゼメート粒剤

農林水産省登録 第13243号



■きゅうり斑点細菌病



■キャベツ黒腐病



■レタス斑点細菌病



■はくさい軟腐病



■ねぎ軟腐病



オリゼメート粒剤は、手で撒くだけの省力防除。
しかも優れた効果が長く持続します。
ユニークな作用性で植物の病害抵抗性を誘導し、きゅうり斑点細菌病等をはじめ、各種野菜の細菌性病害に高い効果を発揮します。

ヤサイニモ、オマカセ。

■適用病害虫および使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
きゅうり	斑点細菌病	6~7.5kg/10a(5g/株)	定植時	1回	植穴土壌混和	1回
レタス 非結球レタス	腐敗病 斑点細菌病	6~9kg/10a			土壌混和	
キャベツ	黒腐病				全面土壌混和又は 作条土壌混和	
ひろしまな はくさい	軟腐病				全面土壌混和	
ピーマン とうからし類	斑点病 うどんこ病	5~10g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	1回
ブロッコリー カリフラワー	黒腐病	6~9kg/10a			全面土壌混和	
わけぎ	軟腐病	6kg/10a	生育期 収穫35日前まで	2回以内	株元散布	2回以内
あさつき		6~9kg/10a	土寄せ時			
ねぎ		6kg/10a	収穫30日前まで			

殺菌剤分類 P2

- 使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。
- 使用後の空袋は、圃場などに放置せず、適切に処理してください。●防除日誌をつけましょう。

お問い合わせ/ご注文は